



鳥取県立美術館プレス懇談会のご案内

2024年11月5日 鳥取会場 / 2024年12月4日 東京会場

2025年3月30日(日)の開館までいよいよ半年を切りました。

9月28日に開催した『鳥取県立美術館開館半年前カウントダウンイベント からっぽの美術館をあそびつくそう!』では、昼の部、夜の部合わせてのべ6,000名ものお客様にご来館いただき、開館に向けた関心と期待がますます高まっています。

さて、今回のプレス懇談会では、鳥取と東京のそれぞれの会場で、『学芸員の顔が見える美術館』をテーマに、開館初年度の企画展をはじめ、具体的な来館者プログラムやオープニングイベントなどについて、鳥取県立美術館の特色を交えながらご説明いたします。

記

日時・会場 [鳥取] 2024年11月5日(火)10:00~11:30 鳥取県立美術館ホール
[東京] 2024年12月4日(水)11:00~12:30 ヒルサイドウエストB棟サロンウエスト
オープンな懇談会形式(双方向的なカジュアルな懇談)

プログラム概要

1.館長挨拶

2.開館前年度~初年度の取組紹介

(1)初年度企画展概要

- アート・オブ・ザ・リアル 時代を超える美術~若冲からウォーホル、リヒターへ~ [尾崎]
- 水木しげるの妖怪 百鬼夜行展 ~お化けたちはこうして生まれた~ [平尾]
- めでたし うるわし ときにいさまし!? The 花鳥画 -日本美術といきものたち- [山田]
- CONNEXIONS | コネクションズ -接続するアーティストたち- [赤井]

(2)鳥取県立美術館の特徴 [三浦]

(3)教育普及・ラーニング [佐藤]

(4)開館記念オープニングイベント・県美を取り巻く環境 [赤尾]

3.今後の予定、懇談

出席者

[登壇者] 尾崎信一郎(県美術館長)、三浦努(県学芸担当参事)、赤井あずみ(県学芸員)★、
山田修平(県学芸員)★、平尾智(鳥取県立美術館パートナーズ学芸員)★、
佐藤真菜(県専門員)

赤尾靖枝(鳥取県立美術館パートナーズ 統括マネージャー)

[司会] 石山彩(鳥取県立美術館パートナーズ 運営担当サブマネージャー)

[主催] 鳥取県立美術館パートナーズ株式会社・鳥取県地域社会振興部美術館

★印は鳥取会場に登壇する学芸員です。

鳥取会場では、担当する企画展について、学芸員みずから出品作品や、見どころなどを直接プレゼンテーションする初めての機会となります。

※プログラムや参加者は変更する場合がございます。予めご了承ください。

注意事項

下記「お申込み」より事前申込推奨／同日関係者への個別取材などのご依頼なども同様記者会見ではなく懇談会としており、テレビカメラ等の設置スペースはございませんのでご了承ください。

当日は受付にて名刺を頂戴いたします。(30分前から受付開始)

会場のご案内

【鳥取】2024年11月5日(火)10:00～11:30 鳥取県立美術館ホール

〒682-0816 鳥取県倉吉市駄経寺町 2-3-12

【東京】2024年12月4日(水)11:00～12:30 ヒルサイドウエストB棟サロンウエスト

〒150-0035 東京都渋谷区鉢山町13-4ヒルサイドウエストB棟

※会場はヒルサイドウエスト内1階です(代官山駅より旧山手通り沿い徒歩10分ほど)



お申込み

申込期限 鳥取会場(10月31日迄) / 東京会場(11月30日迄)

WEB フォームまたはメールにてお申込みください。

WEBフォーム … <https://forms.gle/E3H3APZ8MB9qna3R6>

メール … 下記項目をお書き添えの上、info@tottori-moa.jp 宛てにご連絡ください。

お名前 会社名または媒体名

多くの方のご参加をお待ちしております。

[問合せ] 鳥取県立美術館パートナーズ 広報担当 (山口、石山)

Email | info@tottori-moa.jp WEB | <https://tottori-moa.jp>

TEL | 0858-24-5442 (平日 9 時～17 時)

OPENNESS!

鳥取県立美術館は2025年3月30日(日)に開館します

展覧会スケジュール 2025-2026

企画展 | 1 |

アート・オブ・ザ・リアル 時代を超える美術

～若冲からウォーホル、リヒターへ～

2025年3月30日[日]～6月15日[日]

江戸/現代、日本/世界の広がりをもつ当館コレクションの特徴を交えながら、若冲以降の各時代を代表する名品約200点を一堂に展示。古来より美術の重要なテーマであった「何が「リアル」か」という問いをめぐる挑戦の軌跡を時代・ジャンルを超えてご紹介し、鳥取県立美術館でしか体験できないアートとの出会いを創出します。



アンディ・ウォーホル「Brillo-ボックス」1964年 鳥取県立美術館蔵
© 2024 The Andy Warhol Foundation for the Visual Arts, Inc. / Licensed by AHS, New York & JASPAR, Tokyo ©2022

企画展 | 3 |

めでたし うるわし ときにいさまし!?

The 花鳥画

—日本美術といきものたち—

2025年10月11日[土]～11月24日[月・祝]

日本の絵画・工芸作品には、花や鳥、動物、昆虫や魚など、様々な動植物が登場します。時に可愛く、時に華麗で、時に勇壮一。江戸時代の多彩な「花鳥画」作品を中心に、人々がいきものたちに見出した美の諸相をご紹介します。



鳥取県立「花鳥画」展(部分)、大正8(1919)年 鳥取県立美術館蔵

企画展 | 2 |

水木しげるの妖怪

百鬼夜行展

～お化けたちはこうして生まれた～

2025年7月19日[土]～8月31日[日]

現代の日本人に妖怪文化を根付かせた漫画家・水木しげるが、どのように妖怪と向き合い描いてきたのか、具体的手法に注目した展覧会です。水木所蔵の妖怪関係資料を初公開するとともに、百鬼夜行の名にふさわしく、妖怪画100点以上を一挙に公開します。



© 水木しげるプロダクション

企画展 | 4 |

CONNEXIONS | コネクションズ

—接続するアーティストたち—

2026年2月7日[土]～3月22日[日]

分断が深刻化する時代に、異なる領域やさまざまな文化を結びつけ、未知の世界と接続し、新たな「つながり」を作り出すことで美術表現を更新する気鋭のアーティストたちを招聘。作品を通じて、未来の社会の姿、その有り様を展望することを試みます。



manouji / Roczeh(ローゼン)でのワークショップの様子、2024年11月13日



鳥取県立美術館
TOTTORI PREFECTURAL MUSEUM OF ART

さあ、アートに会いにいこう！訪れるたびに楽しい、みんなの美術館。

年間を通じて、コレクションを紹介しながら多彩な企画展のほかワークショップやイベントを実施します。ひとりでも家族連れでも、子どもからシニアまで、毎日アートを楽しめます。

MUSEUM GUIDE

ミュージアムガイド

★は、観覧チケットが必要です。
その他のエリアはどなたでも自由に入ることができます。



企画展示室 ★



コレクションギャラリー ★



県民ギャラリー ★



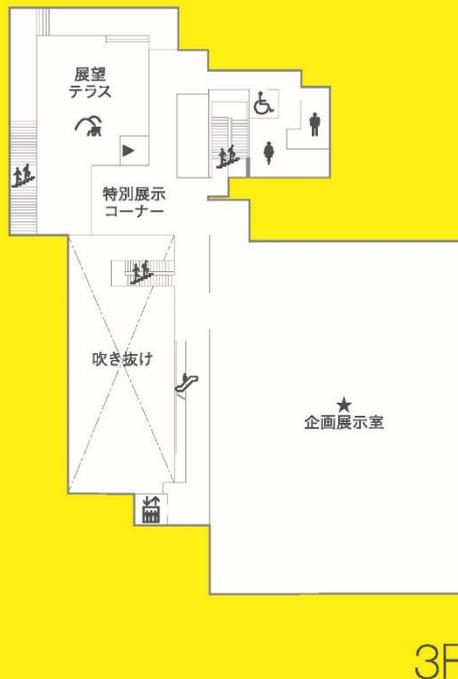
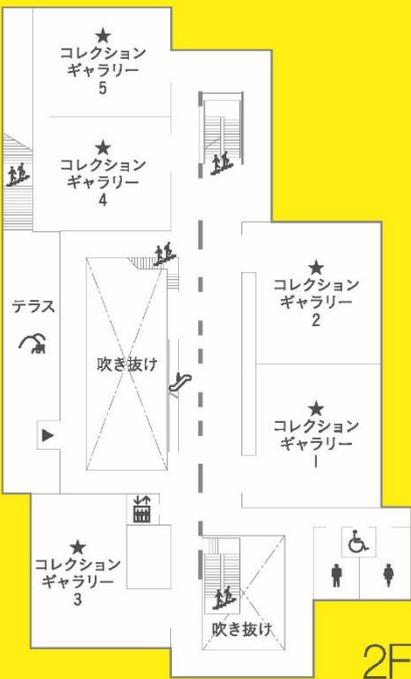
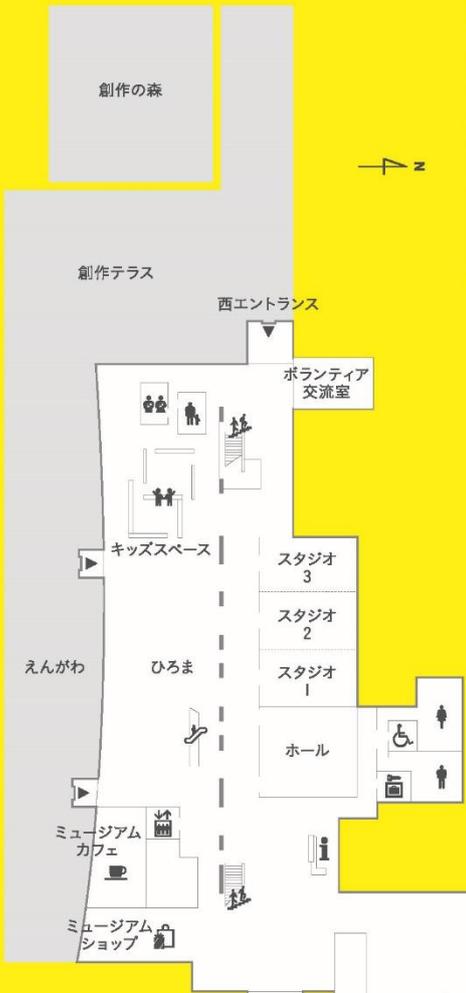
ひろま



キッズスペース



スタジオ



- トイレ
- ファミリートイレ
- 多目的トイレ
- エレベーター
- エスカレーター
- 階段
- キッズスペース
- 授乳室
- インフォメーション
- ロッカー



ミュージアムショップ



ミュージアムカフェ

あなたの「お気に入りの場所」をぜひ見つけてください



開館時間 / 9:00 ~ 17:00 休館日 / 月曜日、年末年始 (12月29日 ~ 翌年1月3日) ほか
※月曜日が祝日の場合は翌平日を休館日とします。※休館日は変更となる場合があります。

観覧料 ※未就学児、障害のある方、要介護者等及びその介護者は無料

企画展	展覧会ごとに異なります。
コレクション展	一般400円(団体320円) 学生・70歳以上200円 高校生以下無料



〒682-0816 鳥取県倉吉市駄経寺町2-3-12
TEL 0858-24-5442(代表) FAX 0858-24-1441
Mail info@tottori-moa.jp https://tottori-moa.jp



アクセス 倉吉駅まで◎大阪駅からJR特急で約3時間◎岡山駅からJR特急で約2時間40分◎鳥取砂丘コナン空港からバスで約45分◎米子鬼太郎空港からJR特急等で約1時間10分 倉吉駅から◎バスで約10分、タクシーで約9分
車をご利用の場合◎米子道湯原ICから約50分◎院庄ICから約1時間◎はわいICから約30分◎倉吉ICから約15分

2024年9月28日[土]開催
鳥取県立美術館開館半年前
カウントダウンイベントの様子



1日の来館者数
6,000人

